



◀平成30年7月豪雨で発生した土砂災害による被害(愛媛県宇和島市)



▼平成27年9月関東・東北豪雨で増水した広瀬川

大雨災害から身を守るために

近年、全国各地で記録的豪雨が発生し、その件数も増加傾向にあります。昨年7月には、西日本を中心に広い範囲で豪雨が発生し、大きな被害をもたらしました。これから梅雨前線や台風が発生により、大雨が降りやすい時季に

なります。お住まいの場所や職場、学校の周辺に危険な場所は無いのか、通勤・通学路は大雨の際に通れるか、避難場所への道順などについて、事前に確認しておきましょう。市では、災害の危険性のある場所をハザードマップとして公表しています。ハザードマップは、市ホームページの「せんだいぐらしのマップ」や区役所などで配布している「仙台防災タウンページ」でご覧いただけますので、自分や家族の行動範囲についてご確認ください。

情報を入手し速やかな避難を

大雨による河川の氾濫や土砂災害は発生すると一気に広がっていくため、避難が遅れると命に関わります。災害が発生する前に安全に避難できるよう、雨が降り出した場合は気象情報等に注意しましょう。気象情報や災害に関する情報は、テレビやラジオ、市ホームページ、仙台市危機管理室ツイッターなどで入手することができます。

また、崖・斜面からの湧水や地鳴りといった現象は、災害発生の前兆である場合があります。このような現象に気付いたら速やかに避難してください。

地震・大雨への備えを再確認

毎年6月12日は、「市民防災の日」です。近年、地震や大雨などによる甚大な被害が全国で多発しています。災害時に自分の身を守るよう、災害への備えを確認しましょう。



仙台市シェイクアウト訓練にご参加ください

大規模な地震は、いつどこで起こるか分かりません。また、実際に地震が発生し、激しく揺れたり物が落ちてきたりする中で、落ちていて行動するというのは難しいもの。いざというときに適切・迅速に身を守るためには、日頃から訓練が重要です。

市では、今年も6月12日午前9時に地震を想定した仙台市シェイクアウト訓練を実施します。シェイクアウト訓練とは、ここ数年で全国に広まっている防災訓練。昨年度本市で実施した際には、学校や企業などを含む約5万7千人が参加しました。

訓練内容はとてもシンプルで、行う動作は「まず低く(DROP)」「頭を守り(COVER)」「動かない(HOLD ON)」の3つのみ。1分程度で終了し、参加者が特定の会場に集合することなく、それぞれの家庭、職場、学校などで参加できるのも大きな特徴です。訓練終了後は、備蓄物資・非常持ち出し袋の点検、家具の転倒防止対策の確認などを行います。この訓練を機に、地震の際の安全の確保や備えについて再確認しましょう。

新たに大雨時の避難情報等に「警戒レベル」が加わります

大雨の際に出される避難勧告や災害発生情報などの避難情報等に加え、新たに5段階の警戒レベルをお知らせすることになりました。警戒レベル1・2は気象庁より発表され、市では警戒レベル3～5を避難情報等の発令と併せてお知らせします。警戒レベルに応じ、適切な避難行動等を行いましょ。



低		緊急度		高
警戒レベル1	最新の気象情報に注意	警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始 …災害を予測し避難準備を呼び掛けるために発令 高齢の方や障害のある方などは避難	警戒レベル5
警戒レベル2	避難行動の確認	警戒レベル4	避難勧告 …災害が発生する恐れがあり、避難を促すために発令 全員避難	避難指示(緊急) …緊急的または重ねて避難を促す場合に発令 災害の危険が目前直ちに避難
				災害発生情報 …すでに災害が発生していることを把握した場合に発令 発令前に避難完了

大雨時の避難行動等に関する説明会を開催します

大雨による災害から命を守るための行動や、ハザードマップの活用法、警戒レベルなどについての説明会を開催します。直接会場へお越しください。

日時	会場	定員
6/16(日) 10:00~11:30	市役所本庁舎8階ホール	360人【先着】
6/22(土)	10:00~11:30	若林区中央市民センター 100人【先着】
	14:30~16:00	宮城野区中央市民センター 70人【先着】
6/23(日)	10:00~11:30	宮城総合支所3階会議室 100人【先着】
	10:00~11:30	太白区役所5階ホール 150人【先着】
6/29(土)	14:30~16:00	秋保市民センター 70人【先着】
	6/30(日) 10:00~11:30	泉区中央市民センター 200人【先着】

この特集に関するお問い合わせは減災推進課 ☎214・3109、FAX214・8096

仙台市シェイクアウト訓練の流れ

- まずは参加登録**
ホームページhttp://www.shakeout.jp/info/sendaishi_shousai.htmlから登録できます。またはファクスに住所、氏名(団体名)、参加人数、訓練実施内容を記入して減災推進課へ。
- 6/12(水)9:00からシェイクアウト**
当日9:00に、地震による揺れを感じたという想定で訓練。およそ**1分間**、机の下など安全な場所で、自分の身を守る行動を取ります。
- 備蓄物資など身の回りの確認を**
訓練後は、備蓄物資・非常持ち出し袋の点検や、家具の転倒防止対策、緊急時の家族との連絡方法の確認などを行うと、より効果的です。

●ホームページ「みんなの訓練サイト」<https://www.minnanokunren.com>では、シェイクアウト訓練の流れの動画紹介や皆さんから寄せられた防災の取り組み等を掲載しています

自らの身を守る「自助」の意識を高める



奥田建設株式会社 品質・安全管理部長 和泉 良栄 さん

当社では、建設業に携わる者の使命として、地域の安心安全を堅固な建物とインフラの整備で守るとともに、さまざまな防災活動に取り組んできました。

『災害情報チーム』を結成し、災害時には被災状況の確認のため、社員がオフロードバイクや自転車等で出動することになっています。東日本大震災の際には早期の情報収集に役立てることができました。また、地域の町内会の防災訓練にも毎年参加し、地域の皆さんと災害発生時の対応などを確認しています。

昨年シェイクアウト訓練を知り、震災時に自らの身を守る『自助』の意識を高めるため参加しました。実際に体験してみると「机の下に書類があり入れなかった」等の感想が出され、改善点が見つかりました。また、備蓄品の点検や災害情報チームの初動訓練も併せて行い、終了後には東日本大震災での体験談を話し合う様子も見られ、震災の記憶や経験の風化を防ぐという点でも意義のある訓練でした。地域と社員の安心安全のため、今後も継続して取り組んでいきたいですね。